

【ATC フィロソフィ⑩】

こんにちは。アークテックコム株式会社（ATC）で、マニュアル作成と翻訳を行っています。豊原 信です。



ウェブサイト：

<https://arc-tec-com.com>

Tel：050-6864-6201

Fax：050-6864-6202

E-mail：m.toyohara@arcteccom.jp

本質を掴めない ChatGPT

今月は「ChatGPT との会話」と、弊社の「フィロソフィ」をお送りします。

ChatGPT との会話

Deep Learning と Neural Network の学びは横に置いて、ChatGPT と会話をしてみました。背景は OpenAI のサム・アルトマンの CEO 解任騒動の記事を深堀していたら、AI 界の Godfather と言われるジェフリー・ヒント博士のインタビュー記事が出てきた、彼曰く『AI が賢いと思った理由が、ジョークが面白い理由を説明できたから』というコメントを読んで、私も試してみました。結果は『おぬし、相当に勉強して情報は持っているな。しかし知恵に成っていないな。』です。以下、AI とのやり取りです。

私：『ジョークが面白い理由を教えてください。』

ChatGPT：『ジョークが面白い理由はいくつかありますね！まず、ユーモアは私たちの予想を裏切ることで笑いを生み出します。ジョークは時

に予想外の展開や意外な結末を持ってきて、そのギャップが面白さを生むことがあります。また、共感や共通の経験に訴えることで笑いを誘うこともあります。人々が共有する日常の出来事や文化的な側面を皮肉ったり、風刺したりすることで笑いを引き出すことがありますね。そして、ジョークは時に状況を軽くする、ストレスを和らげる効果もあるのですよ。』

私：『もう少し教えてください。何故考えることのギャップが大きいと何が面白いのですか？また人は一人一人考えが異なります。お互いに妥協しないと共感や共通の経験はありません。その妥協した考えが面白いのですが、自嘲に思えますが。いかがですか。』

ChatGPT：『確かに、考え方のギャップや異なる視点がジョークを面白くする一因です。人はそれぞれ独自の経験や背景を持ち、そのため同じ状況や言葉に対しても異なる解釈や理解をします。ジョー

クはこの違いを利用して、意図的に情報や期待を操作し、予想外の方向に導くことで笑いを誘発することがあります。また、共感や共通の経験を通じた笑いも重要です。実際には異なる考えを持っていても、ジョークを通じて皮肉や風刺を共有することで笑いが生まれます。このような場面で、自分の視点や考えを少し外から見ること、自嘲や皮肉を含んだ笑いを楽しむことができます。その妥協した考え方が、実は自己へのユーモラスなアプローチにもつながるのです。』

人々が異なる考えを持つことから生まれるジョークは、予想外の視点や自己へのユーモア、そして異なる視点を楽しむことができる面白さがあるのです。』

私：『ジョークが面白いのは、聴衆が 100 人居たら 100 人全員が、異なる認識をして笑うからではないですか。そこに共感や共通性は無いのですよ。統計的な確率で考えることは難しいと思います。』

ChatGPT：『確かに、ジョークが面白いかどうかは人によって異なりますし、100 人全員が同じように笑うことはまれですね。ジョークの効果は個人の経験や感性に大きく左右されます。認識やユーモアのセンスは個々の文化やバックグラウンドによっても異なるため、全員が同じように笑うことは難しいかもしれません。』

ジョークは確かに統計的な確率ではなく、個々の感性や経験に基づいて評価されます。しかし、人々が違う反応を示すことに面白さがあるのかもしれませんが。その違いが笑いを生み出し、時にはその違いそのものが笑いの対象になることもあります。

共感や共通性がないとは言えないかもしれません。たとえば、同じ文化や背景を共有する人々は、その文化的な要素に基づいて同じようなジョークに共感することがあります。また、ジョークの中には広く共通する人間の特性や普遍的な経験を皮肉ったり風刺したりするものもあります。

ジョークの面白さは複雑で、確かに人々の異なる認識や感性が大きな要素ですが、共感や共通性も一部には存在するかもしれません。それでも、その違いが笑いを生み出す興味深い要素の一つであることは間違いありません。』

私：『素晴らしいジョークにはその人の言霊があります。これが聞く人の魂に届き、ある人は笑い、ある人は泣く、

ある人は言霊が理解できずに周囲の人の反応に合わせる。一種の言葉のマジシャンですね。』

ChatGPT：『確かに、素晴らしいジョークや面白い話には、その語り手独特のエネルギーや表現が宿っています。言葉には不思議な力があり、ジョークの言霊が聞く人の心や魂に届くことがあります。そのジョークや物語が人々の感情や想像力に訴えかけ、笑いや感動を生むことがあります。ジョークの語り手はまさに言葉のマジシャンのような存在ですね。彼らは言葉や表現を使って、聴衆の心を動かし、笑いや喜び、時には感嘆や感動をもたらすことができます。その言葉の魔法は、人々の心に異なる反応を呼び起こすこともあります。笑いと涙が同じ物語やジョークから生まれることもあるのですよね。言霊の力が人々に異なる影響を与える一方で、ジョークや物語の語り手がその言葉を操り、聴衆の心を魅了することができる点は本当に興味深いです。そのようなジョークの魅力は、言葉の力が人々の心に響く神秘的な側面にあるのかもしれないですね。』

私：『この神秘はどうやって作られるかご存じですか。ジョークの語り手と聴衆が共同で空間に作り上げるモノだと思います。』

ChatGPT：『その通りですね。ジョークや面白い話が生

まれるのは、語り手と聴衆が共同で作り上げる空間や瞬間にあります。語り手は言葉や表現を駆使して状況や物語を提示しますが、それが聴衆の想像力や感性と交わることで面白さが生まれます。

ジョークや面白い話は、語り手が言葉を選んで提示する一方で、聴衆がそれを受け取り、自分なりの解釈や感じ方を加えることで成立します。この相互作用がジョークの面白さや神秘を生み出すのです。時には、聴衆が語り手の予想外の反応に笑いを生むこともありますし、その瞬間の空気感や雰囲気は笑いを誘発することもあります。

このような共同の創造過程がジョークの神秘を形作っているのでしょう。言葉やストーリーが単独で面白さを作り出すのではなく、語り手と聴衆が共に創り上げる空間が、笑いや驚き、感動を生むのです。その空間こそが、ジョークの面白さや魅力の根源なのかもしれませんね。』

私：『いやー良く分かりました。有難うございます。』

ChatGPT：『どういたしまして！お役に立てて良かったです。もし他に何か質問やお話したいことがあれば、いつでもお知らせくださいね。』

どうですか AI の返答は、知識を相当に持っています。しかし版面、人の心に関する内容に抵触しそうになると、感情の領域で止まって深堀を止めますね。そして、知識を

実践して体得して知恵に出来ていないため、論理に心がこもってなく矛盾を生じています。それを補う努力もしています。これは統計と確率の解析から判断させられているためと推測します。

また、この例でもお分かりと思いますが、相手に分かってもらおうという相手への思いやりや心配りは無いですね。論破のみです。もし、ChatGPT が人情を持つように学習し始めたら恐怖ですね。

ここから弊社のフィロソフィです。

すべての結果は、心に描いたとおりになる

まず、この宇宙には「因果応報の法則」が厳然と存在することを信じましょう。同時に、お釈迦様の言葉「この世界は心に導かれ 心に引きずられ 心の支配を受けている」を信じます。

「どうしても成功したい」と心に思い描けば成功しますし、「できないかもしれない、失敗するかもしれない」という思いが心を占めると失敗してしまうのです。

心が呼ばないものが自分に近づいてくることはないのであり、現在の自分の周囲に起きているすべての現象は、自分の心の反映でしかありません。

ですから、私たちは、怒り、恨み、嫉妬心、猜疑心など否定的で暗いものを心に描く

のではなく、常に夢を持ち、明るく、きれいなものを心に描かなければなりません。そうすることにより、実際の人生もすばらしいものになるのです。

具体的な方法は、「人生・仕事の方程式」を活用します。

「心に描く」とは、「考え＝意志」に当てはまります。

「考え＝意志」にはマイナス 100 からプラス 100 まであります。

「人生は心に描いたとおりになります。心に描いたとおりのものが現象として現れるのです」。このようなことは、仏教でも、またその他の宗教でも同様に言われていることです。

「考え＝意志」「熱意＝感情」「能力＝知性」という 3 つの要素が掛け合わさったものが人生・仕事の結果であり、その三要素の中で一番重要なものが「考え＝意志」です。

このことは理屈ではなく、宇宙の道理、宇宙の法則だと理解しましょう。これを否定すれば、人生の方程式も成り立ちませんし、「まさに心に描いたとおりになっている」ということを否定することにもなります。否定しても得することは何ひとつありません。

また、「積善の家に必ず余慶あり」という中国の言葉もあります。これは、世のため人のために良いことをしようと思ひ善行を積んでいく、陰徳を積んでいくそのような人が住む家には必ず幸運が舞い込んできるという意味です。

我々はよく「徳」という言葉を使いますが、この徳とは、簡単に言えば、「利他の心を持っている」ということです。他を慈しみ、思いやり、助けてあげる、そういう思いを持っている人、また、そういう思いを実行する人、そういう人を「徳のある人」と呼ぶのです。高潔な哲学、思想を持っているから徳が高いというのではなく、世のため人のために尽くすことを生涯の規範にしておられる方こそが徳の持ち主なのです。

2024 年 01 月号に続きます。

豊原 信